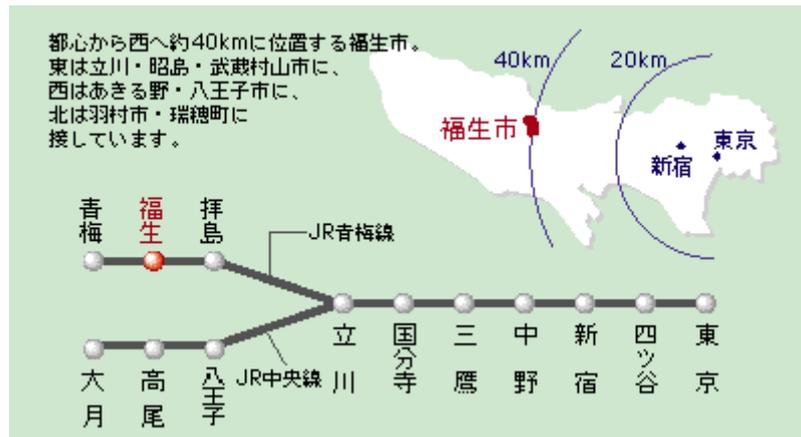


第1章 福生市の概要

1 地理

福生市は都心から西へ約40km、武蔵野台地の西端に位置する、人口*59,055人の都市です。市の西端を流れる多摩川の東側に東西約3.6km、南北約4.5kmにわたって広がり、面積は約10.24平方キロメートルです。



地形の特徴として、横田基地のある市の東側から多摩川に向かって河岸段丘が緩やかに続き、市内に分布する段丘面の境には崖線いわゆる「ハケ」が連なり、その斜面には地下水が流出し、各所で湧水が見られます。また、地質は大部分が*関東ローム層で、多摩川の低地は*沖積土です。美しい奥多摩の山並みを望み、清流が戻りつつある多摩川では多くの野鳥を見ることができます。

JR福生駅を中心に市全域に市街地が広がり、東は立川市・昭島市・武蔵村山市、西は多摩川を隔ててあきる野市、南は八王子市、北は羽村市・瑞穂町に接しています。市の東北部には米軍横田基地があり、行政面積の32%を占めています。

*59,055人 :平成25年4月1日現在。(住民基本台帳法の改正により、平成24年7月9日から外国人住民の方も日本人と同様に住民基本台帳に記載)

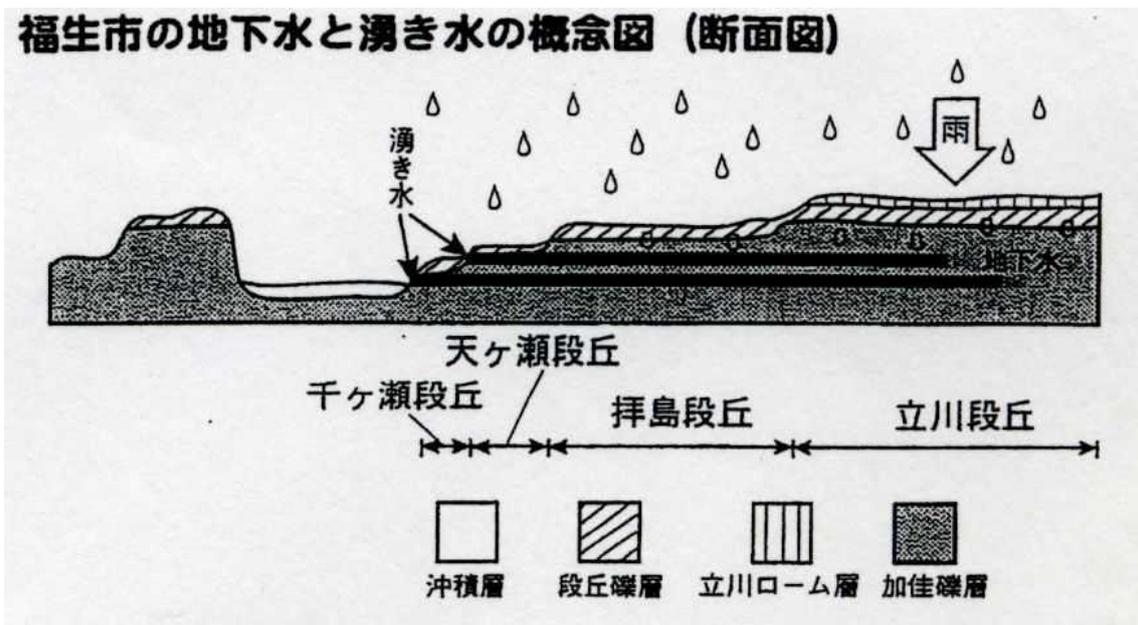
*関東ローム層 :関東平野に堆積した火山堆積物とその風成二次堆積物の総称。
富士・箱根・浅間・榛名火山が起源と見られる。

*沖積土 :河川や湖など、水によって堆積した土。三角州や扇状地の土砂など。



東西 3.6km
 南北 4.5 km
 緯度 北緯 35 度 44 分 07 秒 (福生市役所)
 経度 東経 139 度 19 分 45 秒 (福生市役所)
 標高 最高 143m (武蔵野台一丁目付近)
 最低 104m (福生第五小学校付近)

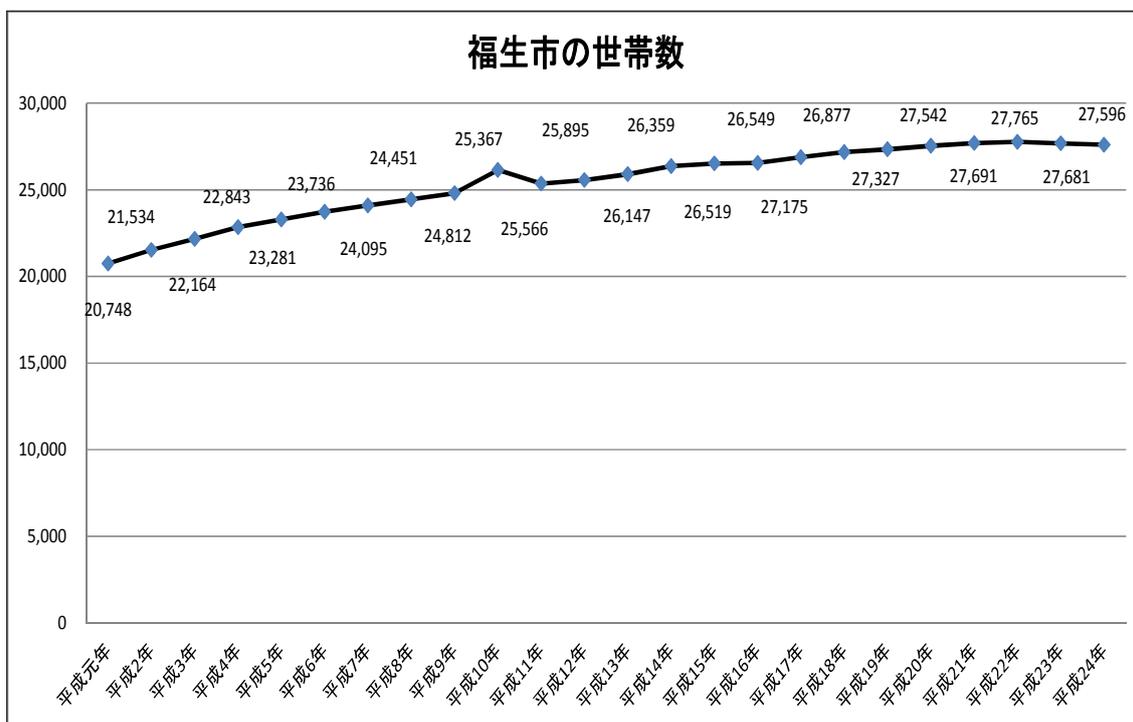
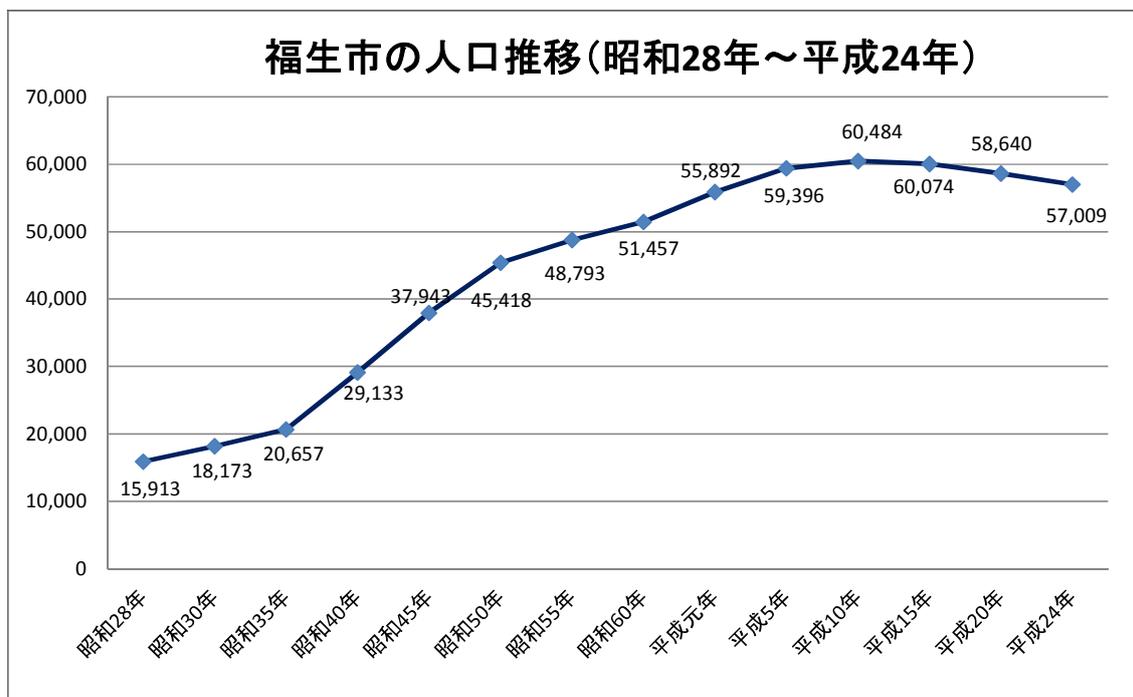
福生市の地下水と湧き水の概念図 (断面図)



(出典:「湧水調査報告書 ー福生市の湧水ー」)

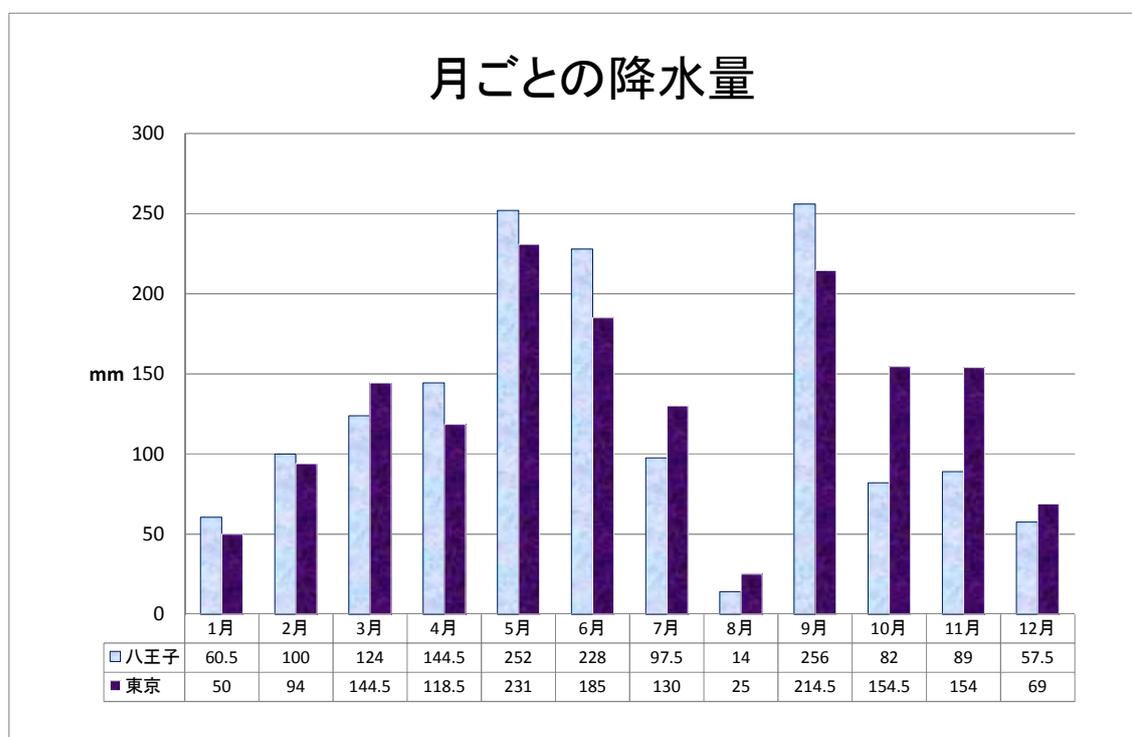
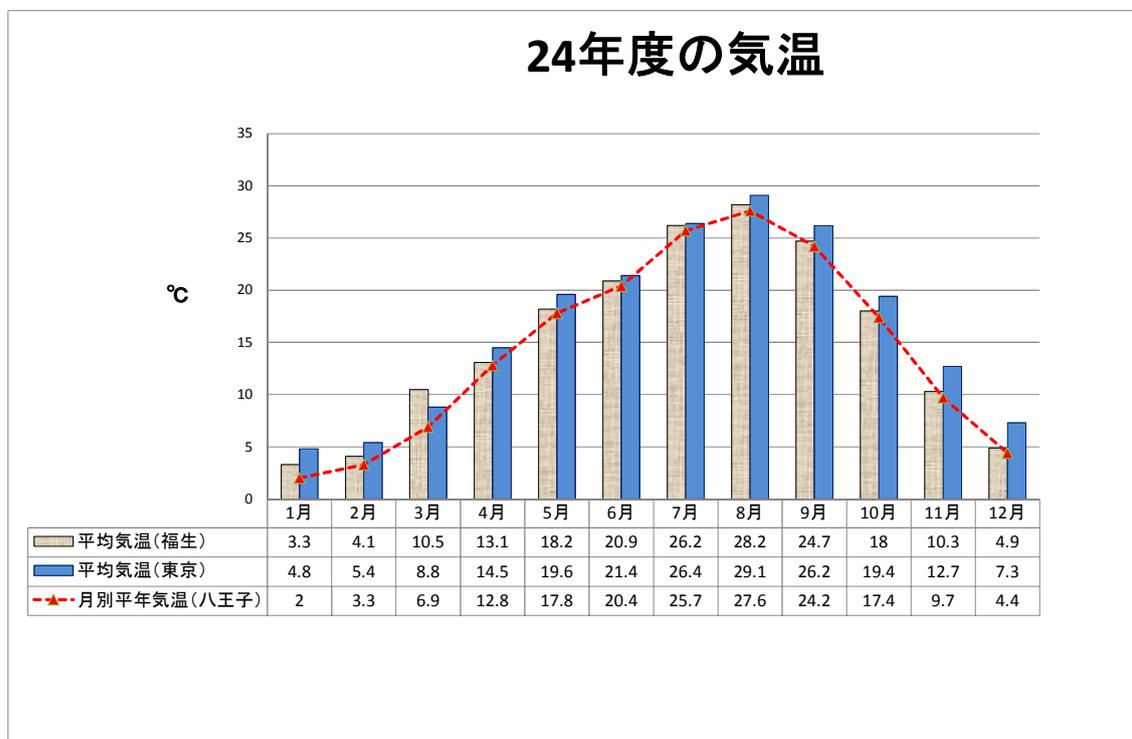
2 人口

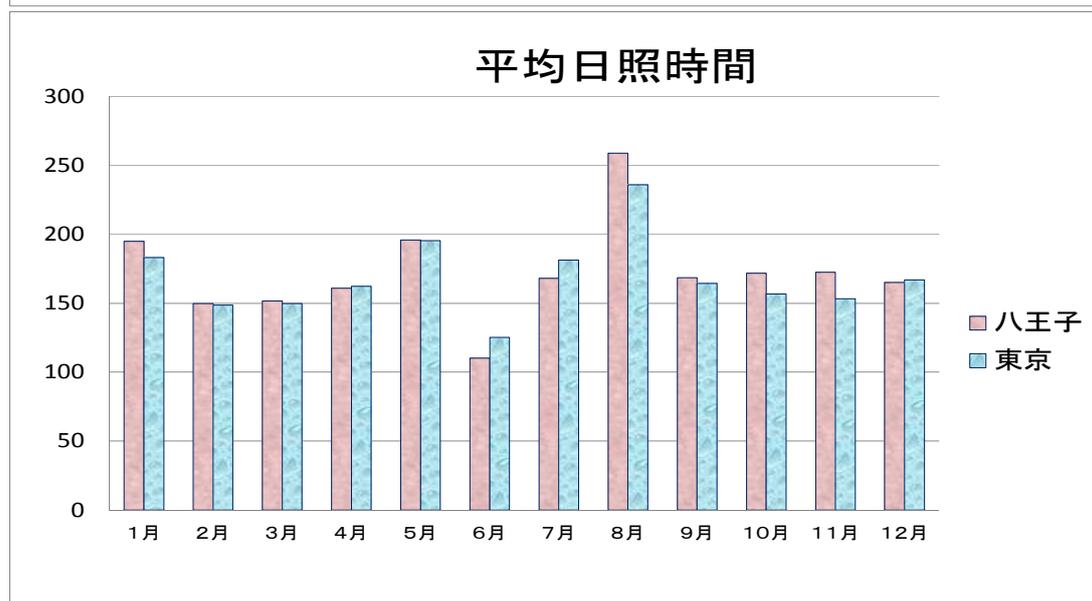
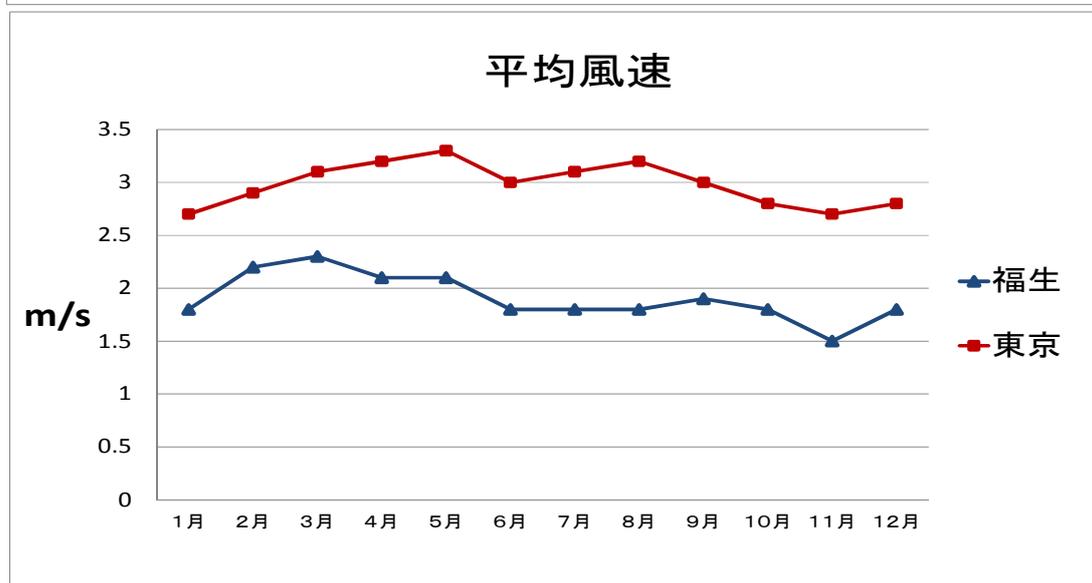
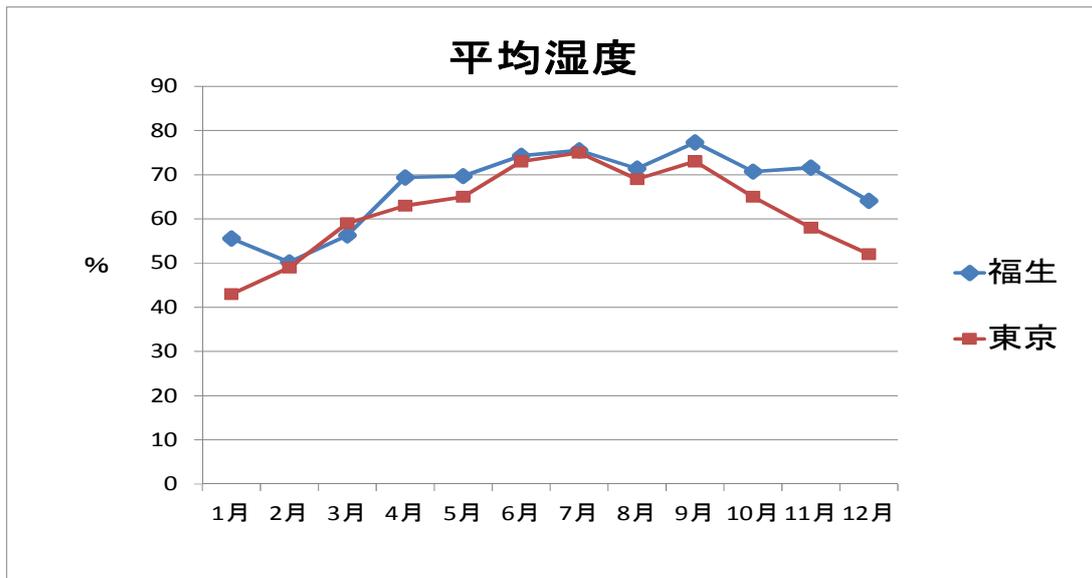
平成10年度を境に福生市の人口(外国人登録を除く)は減少傾向へと転じています。また、世帯数(外国人登録世帯を除く)は平成22年までは増加していましたが、平成23年から減少しています。



3 気象

福生市役所屋上の大気測定室データあるいは福生市から最寄りの気象観測点である八王子アメダスの年平均値を図に示しました。



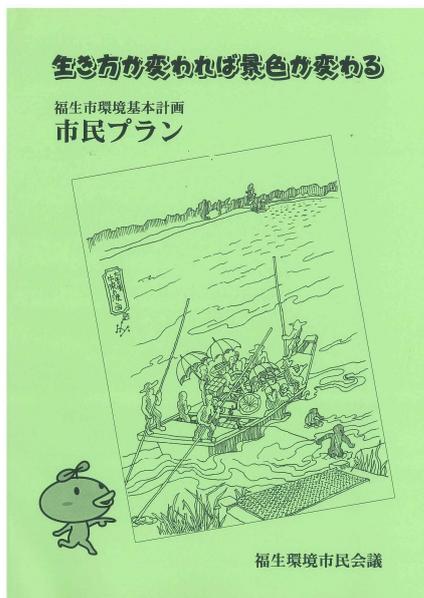
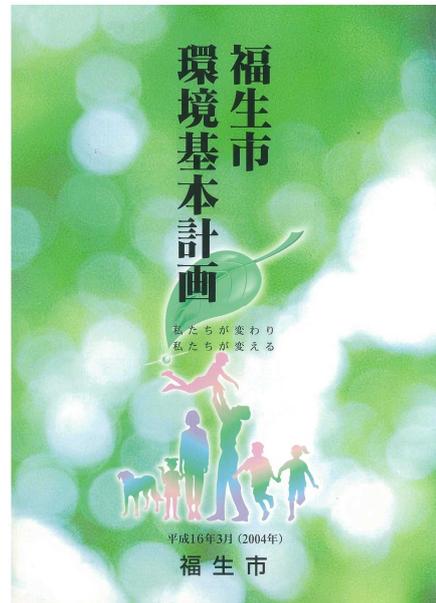


4 環境行政の流れ

福生市では、平成 14 年 3 月福生市環境基本条例を制定しました。

基本条例の前文では、福生市の現況、課題に続き、市民、事業者、行政などすべてのものが協働することの必要性と、人と自然との共生を基本としながら、環境への負荷の少ない循環型社会の構築を積極的に進めることが市の方向として示されました。

福生市環境基本条例を受けて、福生市では環境基本計画の策定のため、福生環境市民会議の募集(平成 14 年 2 月)を行い、公募市民 44 人による会議を開始しました。環境市民会議は、三つの分科会に分かれ、「将来こうなったらいいな」を基本的な視点として、福生市環境基本計画市民プランを作成しました。

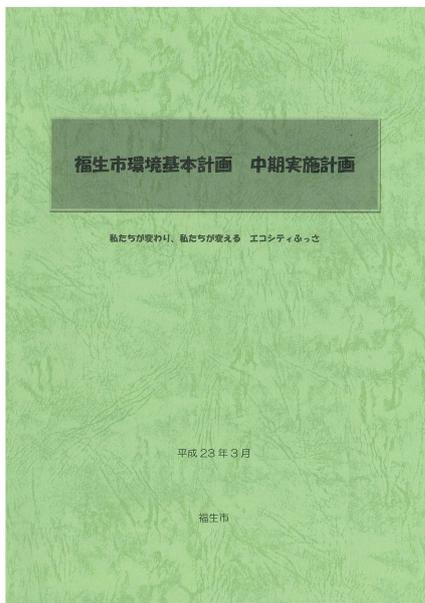


市民プランをもとに作成した福生市環境基本計画(案)を学識経験者、事業者、市民代表からなる環境審議会にて審議を行い、庁内に設置された福生市環境基本計画策定委員会において福生市環境基本計画が策定(平成 16 年 3 月)されました。

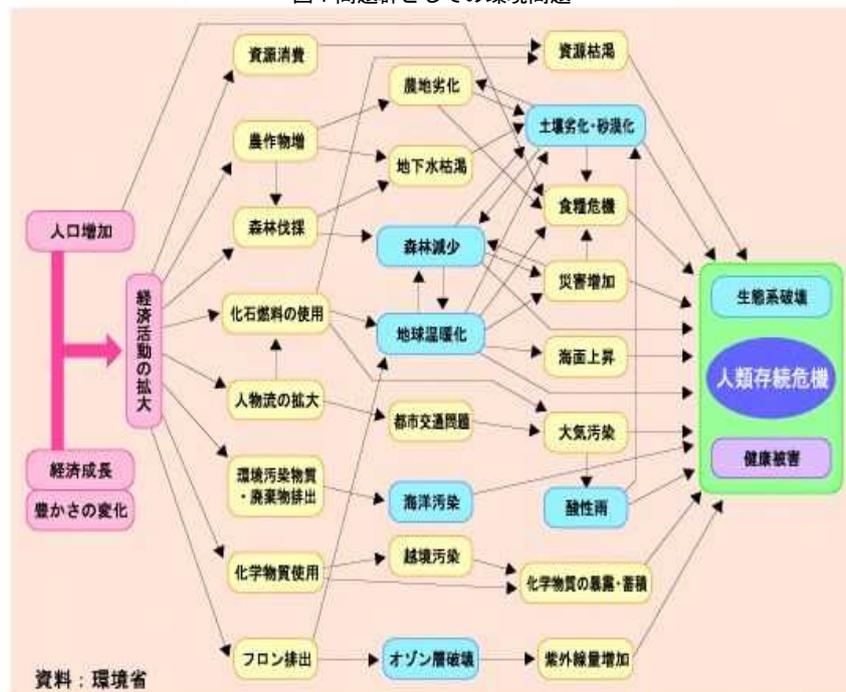
現在は、平成 23 年 3 月に策定された中期実施計画に基づいて計画を推進しています。

福生市環境基本計画では、地球温暖化対策の地域的な寄与をめざし、温室効果ガスの発生抑制に取り組むことを目標に決めました。

平成 16 年度には「福生市地域新エネルギービジョン」を策定し、2030 年、温室効果ガスの排出量を 50%削減することを目標値と決めました。平成 17 年度には目標値への道筋、「福生市地域新エネルギー詳細ビジョン」を策定しました。



図：問題群としての環境問題



福生市環境関連法令の体系(主な法令)

